

令和4年度「あそびでつながる『PLAYFUL PARK』」（実施報告）

1. 事業目的

「遊び」を通して子どもたちの健やかな成長に寄与するためのイベントを実施することにより、すべての子育て世帯が安心して子どもを産み、喜びと楽しみを感じながら、子育てを営むことができるまちづくり、また、次代の社会を担う子どもたちが健やかに成長することができる「子育て支援N o.1」を目指すまちづくりを推進する。

2. コンセプト

遊具を活用した「遊び」を通して、子どものたちの健やかな成長に寄与し、子どもや保護者などが交流を育めるイベントの実施

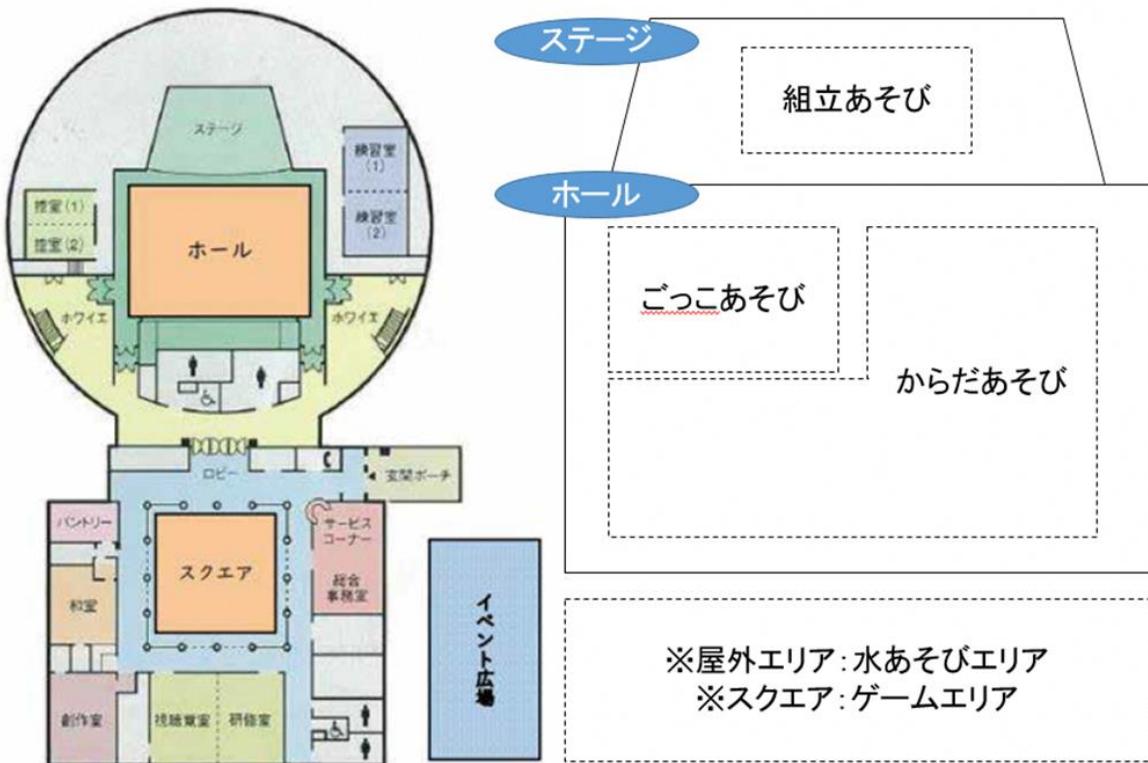
3. 実施場所

木津川市内の公共施設 3箇所
(アスピアやましろ・史跡恭仁宮跡・中央体育館)

4. 実施内容

【開催概要（第1回）】

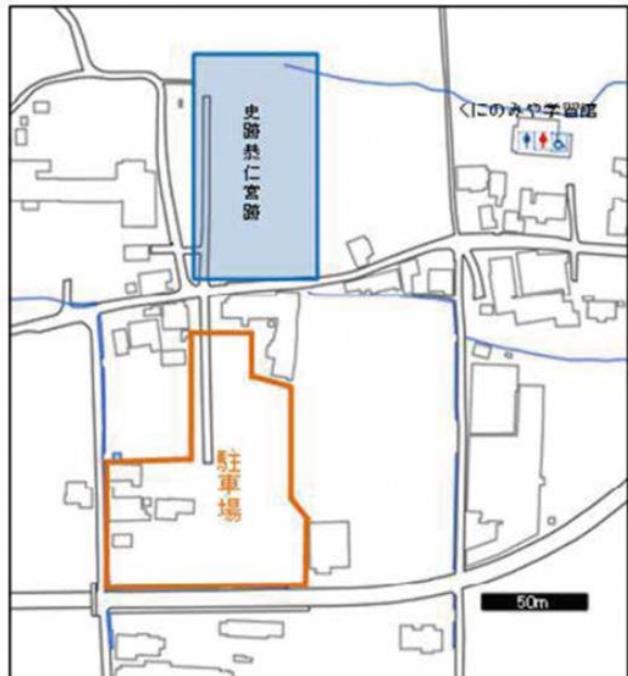
| | |
|-------|---|
| ・開催日程 | 令和4年5月14日（土曜日） |
| ・開催場所 | アスピアやましろ 木津川市山城町平尾前田24番地 |
| ・開催時間 | ①10:30～ ②12:00～ ③13:30～ ④15:00～ 各75分 |
| ・実施内容 | 【ホール】 移動式遊具コーナー（要予約） からだあそび、ごっこあそび、組立あそび 【スクエア】 同志社大学赤ちゃん学研究センターによる水や風の実験あそび 子育て支援センター等の子育て支援情報コーナー設置 【会議室】 子育て支援センターの段ボールや遊びコーナー 救護及び授乳・オムツコーナーの設置 【屋外】 キッザニアゴン、キッチンカー |





【開催概要（第2回）】

- | | |
|-------|---|
| ・開催日程 | 令和4年11月3日（木曜日）（祝日） |
| ・開催場所 | 史跡恭仁宮跡 木津川市加茂町例幣 |
| ・開催時間 | ①10:30～ ②12:00～ ③13:30～ ④15:00～ 各75分 |
| ・実施内容 | <p>【恭仁宮跡】 からだあそび、ごっこあそび、組立あそび、フィットネスコーナー 同志社大学赤ちゃん学研究センターによる自然学習コーナー 子育て支援センター等の子育て支援情報コーナー、遊びコーナー</p> <p>【恭仁小学校講堂】 救護及び授乳・オムツコーナーの設置</p> <p>【駐車場】 キッズガワゴン、キッチンカー</p> |





【開催概要（第3回）】

- ・開催日程 令和5年1月29日（日曜日）
- ・開催場所 木津川市中央体育館

木津川市木津石塚147番地

- ・開催時間 ①10:30～ ②11:45～ ③13:30～ ④14:45～ 各60分

・実施内容

【体育館内】
からだあそび、ごっこあそび、組立あそび、
公共交通ワークショップ（参加費500円）
同志社大学赤ちゃん学研究センターによる水の実験あそび
子育て支援センター等の子育て支援情報コーナー、遊びコーナー

【会議室等】

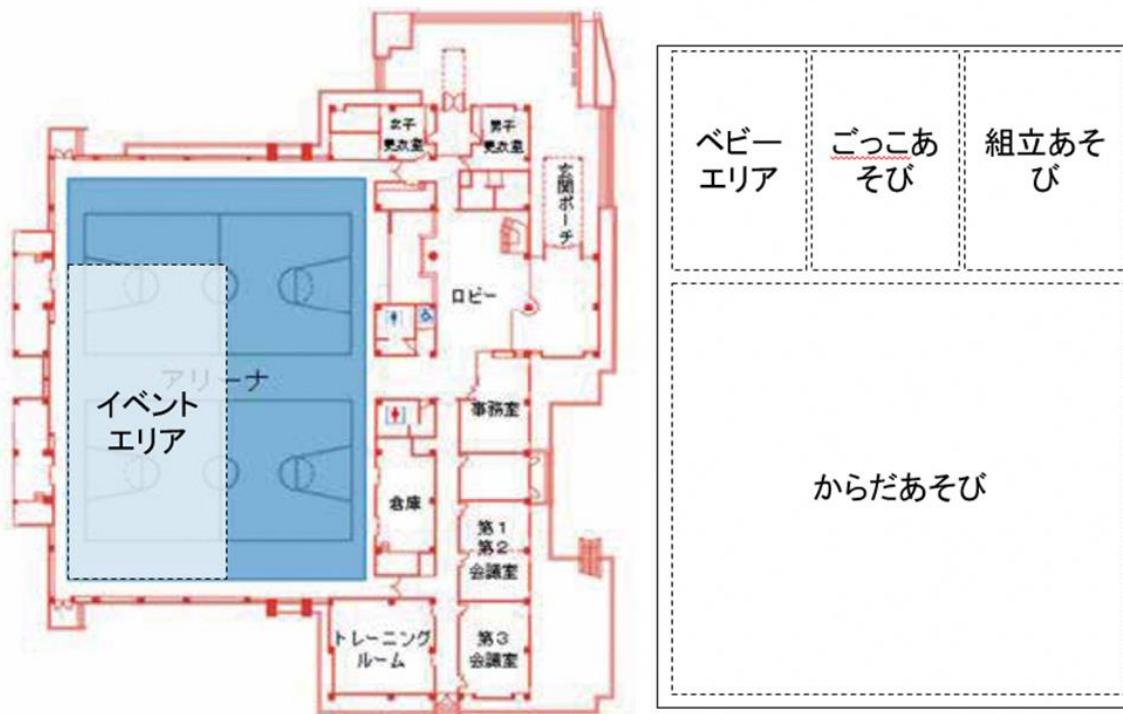
救護及び授乳・オムツコーナーの設置

京都府福祉人材・研修センター共催の保育士就業サポートアップ研修会
&個別相談会（要予約）

【駐車場】

キヅガワゴン、キッチンカー

親子バス乗車体験





5. 実施実績

■来場者（大人・子ども含めた総数）・アンケートまとめ

| | 1回目 | 2回目 | 3回目 | 合計 |
|----------|----------------|----------------|----------------|------------------|
| 定員 | 400名 | 480名 | 480名 | 1,360名 |
| 予約数 | 400名 | 480名 | 480名 | 1,360名 |
| 実来場数 | 395名 (131組) | 447名 (130組) | 477名 (141組) | 1,316名 (402組) |
| 来場率 | 98.8% | 93.1% | 98.8% | 96.8% |
| アンケート回収 | 44件 | 49件 | 37件 | 130件 |
| アンケート回収率 | 33.6% | 37.7% | 26.2% | 32.3% |

■新型コロナウイルス感染症対策

- クール事前予約制
- 手指消毒・検温
- 扉・窓の開放
- 大型扇風機による換気
- 遊具の消毒 等

■事業経費

- 歳出決算見込額 4,927千円
※イベント委託料、物品賃借料、消耗品費 等
- 歳入決算見込額 3,284千円
※京都府子育てにやさしいまちづくりモデル事業交付金
(事業費の2／3補助)

■評価・課題

木津川市では子育て世代を中心とした転入が多いという特徴があり、子育て世代が孤立感や疎外感を持つことなく、安心して子育てができる環境づくりが重要となっていることから、「遊び」を通して子ども達の健やかな成長と、子どもや保護者などが交流を育むためのイベントを年度内に3回実施した。3回のイベントを通して保護者から、「楽しかった」や「また開催してほしい」といった意見を多数いただいた。

1回目の実施の際、イベント対象者を市内在住の未就学児とその保護者としていたが、「小学生の兄姉がいたため参加ができなかった」という意見があり、2回目以降、未就学児の兄姉に限り小学生まで参加を可能とした。また、2回目は会場が屋外であったため、第4クールの時間帯が日暮れと重なったことから参加者が少なくなり、3回目の時間を調整するなど対応を行った。

今年度の3回のイベントを終え、多くの保護者から、このようなイベントを継続して欲しいというニーズがあることがわかった。今後も、これまでから実施している「つどいのひろば」や「子育て支援センター」事業と併せ、子育てイベントを企画・実施することで、子育て支援サービスの更なる充実を図りたい。